

平成 29 年度 第 2 回 金沢市歴史まちづくり協議会

日 時：平成 30 年 1 月 31 日（水） 13:30～15:30

会 場：金沢市役所 7 階 第 4 委員会室

出席委員：嶋崎会長、川上委員、北浦委員、竺委員、森委員、屋敷委員、
二塚委員（代理：斉藤委員）、猿田委員（代理：藤村委員）、
田村委員（代理：安委員）、嶋浦委員、松倉委員、磯部委員

事務局：歴史都市推進課 水口課長、石浦町家保全活用室長、水由課長補佐、
福塚係長、木村担当課長補佐、泉主任主事、大字技師

関係課：文化財保護課 飯田課長
景観政策課 松矢課長
無電柱化推進室 高木室長

- 1 開会
- 2 歴史都市推進課長あいさつ
- 3 嶋崎会長あいさつ
- 4 議事

議事

- 1) 金沢市歴史的風致維持向上計画（現計画）における今年度の事業の進捗状況について
…（資料 1）

～事務局より説明～

（北浦委員）

（資料 1）P2 左上、③惣構復元整備事業について、整備イメージ図の土居の手前に柵が入り組んでいる部分があるが、これは升形の入り口か。

（事務局）

提示された部分は、土居の下に設けた来訪者向け案内板のためのスペースである。

（川上委員）

（資料 1）P1 左、【実績】の「金澤町家の修理事件数」について、正確には金澤町家再生活用事業の修理事件数になるかと思うが、直してはどうか。

（事務局）

対応する。

(竺委員)

鼠多門と鼠多門橋の整備について、橋と道路との高さ関係はどうなっているのか。

(藤村委員)

門については復元、橋については市道の交通確保のため、路面から 4.7m という高さを確保したうえで整備する方針で設計を進めている。

(竺委員)

そうすると、門から金谷出丸へのアプローチについては変更になるのか。

(藤村委員)

変更となる。金谷出丸側にかなりの段差ができるため、尾山神社の境内地内にてバリアフリーも含めた処理を行う必要がある。

(竺委員)

「市道を少し掘り下げたほうがいいのでは」という意見もあったがどうなったか。

(藤村委員)

市道の下にはライフラインとなる埋設管が相当数入っているため物理的に難しい。

(嶋崎会長)

橋を渡って階段で降りることになるのか。

(藤村委員)

金沢城から行くと、金谷出丸で一部階段とスロープとなる。

(竺委員)

必ずしも正確な復元にはならない。

本来であれば堀を復活させた方が良くと思う。

(嶋崎会長)

金沢市歴史的風致維持向上計画(現計画)における今年度の事業の進捗状況について、ご承認いただいてよろしいか。

一同、承認

2) 金沢市歴史的風致維持向上計画（現計画）の最終評価（案）について …（資料2）

～事務局より説明～

（嶋崎会長）

パブリックコメント意見が1件というのは、市民の了承を得られていると考えていいのか。

（事務局）

そう考えている。

（嶋崎会長）

意見1件のみというのは、市民の意見としては少ないところもある。ぜひ委員の方の意見を頂戴したい。

（北浦委員）

参考資料1について、観光客の中には雪道を歩くことを風情があると感じる人もいるかもしれないが、どうしても消雪装置が必要ということであれば用水を汲み上げて利用する方法を検討してはどうか。

（磯部委員）

市の除雪計画では、機械除雪の1次路線として、積雪が10センチ程度になると業者が自発的に判断し、除雪にむかう最優先の路線があり、この路線は1次路線に該当する。一方で、散水消雪の路線は延伸が難しい状況であり、また、地下水を汲み上げて行う場合、3、4日降雪が続くと水位が下がり水が出なくなるため、機械除雪で補完するというデメリットもある。ご指摘のとおり、河川水を汲み上げる方法もあるが、水温が低いため大規模な加温施設が必要となる。1次路線の機械除雪を丁寧にすることが最も効率の良い方法であると考えている。高速道路や国道等の一番重要な路線はほとんど機械除雪である。運用面において十分な配慮を行いたい。

（川上委員）

磯部委員の話は車道のことであると思うが、ここで言っているのは歩行空間のことである。金沢市は観光部局が中心となって歩ける観光ルートを定めており、長町などの観光ルートは人力除雪を行うなど除雪方法等についてもっと考えていくべきである。

（磯部委員）

金沢市の除雪路線のうち歩道除雪というのは、現在、全体延長580kmのうち160kmであり、27%程度となっている。対象エリアは金沢駅から武蔵、香林坊のまちなかを中心として、県庁

や県立中央病院などとなっており、それらをネットワークとして繋げるかたちで重点的に整備することとなっている。川上委員が指摘されるエリアも重点エリアであると考えてはいるが、機械やオペレーターの数を考えると整備していくことが難しい状況である。しかし、北陸新幹線が開業し、状況も変わってきているため、今後検討していきたいと考えている。

(竺委員)

そうであれば、将来的に考慮している等の記載とした方がいいのではないかと。

(嶋崎会長)

私の町会では、泉用水から水を汲み上げ消雪装置を作った。市で行う事なのか町内会で行う事なのか、地域がどう考えるかであるが、地域にやる気があれば簡単にできることである。

北浦委員が提案したいことは、そのような用水利用による消雪もできるのではということではないかと。

(磯部委員)

今ほどの話の補足となるが、市道 2,180km のうち除雪対象路線というのは 735 路線、880km あり、市道全体の約 4 割となっているが、業者やオペレーターの数からすると限界である。残り 6 割はほとんど生活道路であり、官民連携、住民の力を借りている状況である。用水等を利用できるような所については、簡易な消雪装置に対して助成する制度があり、活用していただいている。その他、小型除雪機の購入に対する助成についても推奨している。このような制度を活用していただいて、官民連携で取り組んでいきたいと考えている。

(森委員)

生活道路を除雪するのはかなり大変であり、除雪の要望も多いのではないかとと思う。歩けるまちづくりを進める歴史的風致の観点からも何か工夫ができると良いと思う。

(森委員)

(資料 2) P12 について、歩道の整備などの際に、縁石や材料など安価な大量生産品を使用するため、必ずしも場所の雰囲気合っていない事が多々ある。コストの事もあるかもしれないが、もう少しきめ細かい取扱いが出来ると望ましい。今後検討していただきたい。

(竺委員)

(資料 2) P25 について、川筋景観についても電柱が景観阻害の要素となっている。川筋景観の観点からも無電柱化事業を進めていただきたい。

(嶋崎会長)

無電柱化事業が実現したところは非常にスッキリとして綺麗になるが、財政的に大きな負担がかかる。なかなか簡単ではないかもしれないが、出来るだけ進めていただきたい。

(北浦委員)

(資料2) P16 の木倉町無電中化のように、狭い道路を無電柱化する場合、車が出来るだけ通らないような仕組み作りをお願いしたい。また、走りやすくなったことで、スピードを出しすぎないような対策をお願いしたい。

(事務局)

今ほどの話は、地元町会からも時折聞かれることがある。このようなケースには、例えば路面に徐行標示をするなどソフト対策によって車のスピードを抑える対策をしている路線もある。出来るだけ安全な走行に配慮するような取り組みを併せて行っていきたい。

(森委員)

(資料2) P5 に海外旅行者に対する取り組みの記載がある。これと関連して日本人が海外旅行に行く際に「地球の歩き方」という本を利用するが、移住者などの体験談や公共交通の利用方法等が掲載されており、非常に便利である。金沢版ないしは北陸版でこのような本を作れないか。

(笠委員)

例えば、一度外国人旅行者にアンケートを実施して、実際に困ったことや悩みについて対応できればいいのではないか。

(事務局)

観光部局及び交通部局に貴重なご意見としてお伝えする。

(屋敷委員)

(計画(第2期)) P27 に「松門」と書いてあるが、ルビが必要ではないか。同頁の「下口」、「上口」という記述にもルビがあった方が読み易いのではないか。

(事務局)

再度ふりがなを確認し、読みやすいように配慮したい。

(嶋崎会長)

金沢市歴史的風致維持向上計画(現計画)の最終評価(案)について、ご承認いただいてよろしいか。

一同、承認

3) 金沢市歴史的風致維持向上計画（第2期）策定について …（資料3）

～事務局より説明～

（川上委員）

歴史的風致維持向上計画が対象としているのは、文化財指定しているものが中心であるが、金沢の場合は、金澤町家というものもその中に入れて取り扱っている。その中で金沢市は金沢職人大学校を設置して実績も挙げているが、計画内で大きく取り扱っていない。歴史的な建物を維持管理していくうえで、金沢職人大学校の取り組みは重要であり、その実績は全国に誇るべきものである。計画の中に取り入れるべきではないか。金沢職人大学校の評価を何処でしているのかは分からないが、このような計画に載せて、その取り組みなどを評価していくことも必要ではないか。

（笠委員）

確かにその通りである。全国で様々な伝統技術があるが、金沢では違った発展をしてきている。金沢の伝統技術の復元を行っている点について、評価してもいいのではないか。金沢職人大学校という項目を立てて、活動の内容等を書いてもいいのではないか。

（事務局）

金沢職人大学校の件については、伝統的建築物の修復等と非常に関係する項目であるため、現計画でも少し触れてはいるが、何らかの形で、計画に反映していきたい。

（嶋崎会長）

地元の間は金沢職人大学校の存在や活動の内容をある程度分かっているが、報告書だけを見た人は、項目立てしないと分かり難い。検討いただきたい。

（川上委員）

関連して、金沢職人大学校が教育研修機関として機能していると評価されているが、目的は地元の歴史的建造物の修復等で活躍していただくことであると思う。その点について、卒業した者がどのような形で活躍しているのか把握できていない。活躍できていないのであればどのような対応が必要なのか検討が必要である。卒業生はその技術を発揮する機会が少ないと言っている。そのことをしっかりと把握していただきたい。

（北浦委員）

金沢職人大学校も開校して20年が経ち、運営委員の先生方にこれまでの総括をしていただき、次にどうしていくのかというアイデアもいただいた。これをもとに今後の方針を立て、少しずつ進めている。

中にいると、学んだ技術を生かす場がないということはよく見えているし、職人自体の数がどんどん減っていて、入学者も少なくなっている。我々としては共有している

が、計画に記載していただくことは励みにもなるのでありがたい事である。

(事務局)

職人の活性化を目指して、金沢職人大学校にプランを作成していただいて、一つひとつ実現させている最中である。先ほどからの技を発揮する場が無いという課題に関しても、様々な検討を行っている。

(森委員)

基本的な今後の展開については、望ましい形でハードソフト含めて検討されている。また、まちづくりフロアなど、お互いに連携を図っており、よくやっていると思う。

しかし、観光客も増えて外部資本も色々と入ってきており、そういう意味の問題点が顕在化している。例えば東山で必ずしも相応しくない店舗が出店していたり、ゲストハウスなど安価に宿泊出来るタイプのホテルや民泊など別の意味での問題点が出てきている。このような問題を専門的に取り扱う部署があっても良いのではないか。

(嶋崎会長)

金沢らしさの観光地化が上手くいけば良いが、必ずしもそうなってはいない。金沢市にはその辺の対策を検討いただきたい。

(川上委員)

(計画(第2期)) P156 などに文化財の保存活用ということを謳っているが中身が物足りない。

今年度、NPO 金澤町家研究会が直接文化庁から委託を受けて、民間投入による文化財の自立的活用について研究を行っているが、金沢市の現状や将来的な歴史的建造物の保存活用を考えても、もう少し踏み込んだ活用方法を検討すべきである。具体的に言うと文化財の指定を受けた公共的な所有のものであっても、民間に貸していろんな形で活用していただくことができないか。今後色々な形でまちなかの活性化と連携して、文化財を活用していく仕組みを作る必要がある。是非そのような取り組みも行っていただきたい。

(嶋崎会長)

まちなみの保全というのが都市景観上一番大切な問題である。大野地区で考えているようであるがそれを含めて、金沢のまち全体の構造の中におけるまちなみの保存ということに無電柱化と同様に力を入れていただきたい。

(事務局)

まちなみが整うという観点について、例えば金澤町家を取り壊されると町家が無くなること自体も問題だが、まちなみが歯抜けになることが非常に心配である。少しずつ取り壊しが増えれば最後には必ずゼロになってしまう。どこかの段階で足し算をしなければならぬ。

まちなみの保全について、トータル的な視点を持って取り組んで参りたい。

(森委員)

(資料3) P3 の⑩に城下町と密接に関わってきた地域の歴史的風致ということで、金石、大野、二俣などが対象として取り上げられていたが、都市というものはそれを支える背景がある。金沢のまちの中心とそれを支えてきた周辺の関係が見えて非常に良いことである。

(北浦委員)

(計画(第2期)) P32 から始まる、金沢の歴史的風致形成に関わりのある主な人物の項目について、前回より改善されてはいるが、写真または絵がない人物がいる。出来るだけ載せるように努めて欲しい。

(計画(第2期)) P46 の旧城下町における戦前建築物の分布について、色味が薄く分かり難いので、印刷される際に考慮していただきたい。

(計画(第2期)) P81 の茶の湯文化が育む歴史的風致の範囲について、凡例の整理、修正をしていただきたい。

(計画(第2期)) P141 の団体一覧中の「辰巳用水を学ぶ会」を「辰巳用水にまなぶ会」に訂正していただきたい。

(安委員)

(資料3) P7 歴史的風致形成建造物の指定基準について、この基準でいくと天然記念物は入らないが、歴史的風致形成建造物候補のリストには天然記念物が入っていたため、整理が必要なのではないか。

表紙の文面について、「金沢城や兼六園などの歴史上価値の高い建造物が、・・・」とあるが、兼六園の価値、風致は大名庭園であるため、建造物としてひとくくりにすることに違和感がある。

(事務局)

記載内容について検討させて頂きたい。

(嶋崎会長)

金沢市歴史的風致維持向上計画(第2期)策定について、ご承認いただいてよろしいか。

一同、承認

閉会